

リフラクトリーセラミックファイバー標準測定分析法（PCM法）

構造式： 分子量： CAS No.： 142844-00-6	
許容濃度等： ACGIH 0.2 f /cm ³ RCFC（米国 RCF 製造協会） 0.5 f /cm ³ （推奨基準） HSE 1 f /cm ³	物性等： 物理的状态： ウール状、繊維 比重： 2～3 g/mL 引火点： 非引火性 化学成分： Al ₂ O ₃ ： 30～60%、SiO ₂ ： 40～60% RnOm： 0～20%
サンプリング	分析
サンプラー： ろ過捕集装置 セルロースエステル混合メンブランフィルターφ25mm （ホアサイズ 0.8 μm 等がある） サンプリング流量： 面速が 4.0～5.0cm/s になるように流量を設定する。1L/min 程度（φ25mm） 採気量：（最大 800L） 保存性： 安定（ろ紙のままで保存） ブランク： 1 回の測定につき未使用のセルロースエステル混合メンブランフィルターφ25mm（サンプリングしたものと同じホアサイズのものを 1 枚使用する。（バックグラウンド保証されているろ紙もある。）	分析方法： 計数法（位相差微鏡法） 前処理： 灰化処理なし： セトン蒸気による透明化処理—トリアセチン法により固定 灰化処理あり： アセトン蒸気による透明化処理—低温灰化処理—トリアセチン法により固定 （有機繊維の混入が著しい場合は灰化処理を行う） 計数規則： 長さ 5 μm 以上、長さと同幅（直径）の比が 3：1 以上で幅が 3 μm 未満の繊維を計数する。
精度	
定量下限： 信頼限界 95% を上限とした定量 下限値 S（f / cm³） $S = \frac{2.645 \times A}{a \times n \times Q}$ A： 採じんした面積 （メンブランフィルターの有効ろ過面積（mm²）） a： 顕微鏡で計数した 1 視野の面積（mm²） n： 計数視野数は 50 視野 Q： 吸引空気量（L）	機器： ①位相差顕微鏡 ②位相差顕微鏡の対物レンズの開口数 0.65 以上のもの ③アイピースグレイティクル ④HSE/NPL テストスライド キャリブレーション： HSE/NPL テストスライド （グループ No.5 以上を確保すること。）
適用： この方法は、リフラクトリーセラミックファイバー繊維のみを適用するものではなく、総繊維数濃度として繊維状粒子を測定するため、他の人造鉱物繊維や石綿の測定方法としても適用可能である。リフラクトリーセラミックファイバー繊維を特定する場合は、分散染色法や電子顕微鏡法を併用すると良い。	
妨害： 視野内に非繊維状の粒子が多く含まれている場合や、現場で繊維の飛散状況を考慮せず、分割サンプリングを実施しなかった場合、繊維が折重なることにより、マイナス誤差になる。計数規則に従って計数するため、リフラクトリーセラミックファイバー以外の繊維が飛散している場合は、その繊維も計数することになり、プラス誤差になる。	
参考文献： NIOSH Manual of Analytical Methods 7400	